

議事要旨

1. 会議名 地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会 地誌・国際理解教育小委員会（第24期・第2回）
2. 日時 2018年7月15日（日） 14時30分～15時40分
3. 会場 慶応義塾大学三田キャンパス 11研究棟1F 会議室
4. 出席者 松原宏、岡橋秀典、岡本耕平、山川充夫、中澤高志、氷見山幸夫、宮町良広、山本健兒

5. 議事概要

1) 前回議事録確認

前回(4月22日)議事録が確認の上承認された。

2) 講演:松本隆夫氏(千葉県立木更津高校教諭)「歴史教師が考える国際理解と地誌学習」

前回会議で、地理プロパーでない教師から地理総合、あるいは国際理解についての意見を聞きたいとの要望があったので、今回は歴史プロパーで現在地理をご担当の松本隆夫氏に講演いただいた。講演はこれまでの経験を通して科目地理の授業の工夫や今後の可能性を論ずる内容で、大変興味深いものであった。要点は以下の通り。地誌学習では導入部分を工夫している。テレビ番組に役立つものが多数ある。歴史教師からみると、科目地理はストーリーがないようにみえることがあるが、それは歴史教師の時間を軸とした思考傾向とも関係しているのではないかと。地誌学習に主体を入れこむことも必要である。どうすべきか、どうあるべきか、どう関われるかという視点の育成とも関わる。地誌学習では、SDGsを参考として課題、解決意識の育成が可能である。教師と生徒が共通の目標を持てるのではないかと。知る→判断する→行動するというサイクルを盛り込みたい。歴史教育では、近年市民性を軸に、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかを大きなテーマとして提起しているが、これを地理にも取り入れられないかと。

講演後に、歴史と地理の考え方の違い等をめぐって活発な議論がなされた。

3) その他

なし